

漫湖水鳥・湿地センター

# たより

2006年3月10日発行

No.32



漫湖水鳥・湿地センター 自然観察会

## はじめての野鳥観察

講師：高原 建二先生（県立博物館学芸員）

平成18年2月19日（日）に、高原 建二先生をお迎えして、「はじめての野鳥観察」を行いました。今回の観察会は、あいにくの天候となってしまう、センター内での観察会となりました。

まずはじめに高原先生が、沖縄県内の生き物、漫湖の野鳥などについて詳しいお話をしてくださいました。スライドにはいろいろな生き物が登場しました。



高原先生のお話、勉強になりました。



真剣にお話を聞く参加者のみなさん。

「大雨の中でも、漫湖に野鳥はいるのかな??」次は、センターの中からの野鳥観察です。望遠鏡をのぞいてみると…いる、いる！ムナグロ、ダイシャクシギ、アカアシシギが雨の中、一生懸命エサを探しています。また、センター周辺では、オカガニが姿を現しました。漫湖には色々な生き物が棲んでいるのです。

参加者の皆さんからは、「望遠鏡で大きくして見るのは初めてで、びっくりした。」「自分で鳥を探して、ピントを合わせられたのが嬉しかった。」や「雨で残念だったけれどもじっくりとお話を聞いてよかったです!」との感想を頂きました。

次回は、ぜひ野外で観察したいですね！



野鳥には、いろいろな特徴があるんだなあ。

## 10月からがんばってくれた玉城さんが退職します。

わたくし玉城は、今年の3月で漫湖水鳥・湿地センターを退職することになりました。半年間という短い期間でしたが、センターではいろいろな経験をさせて頂きました。

「この鳥の名前はなんだろう？」

昨年10月、センターに赴任してまず始めたのは野鳥の名前を覚えることでした。あれから半年、今ではセンターに来館されるお客様方と、漫湖の野鳥や生き物について、楽しくお話できるようになりました。



センターには、たくさんのお客様が訪れます。小・中・高校生、本土からの観光客、おじいさんおばあさん、海外からもやってきます。そのお客様方との出会いも良い経験になりました。センターから漫湖の景色や野鳥を見て、「すごい！」「鳥がたくさんいる！」と、感激する皆さん。その時の輝く目と笑顔は忘れられません。子供も大人も、美しい自然が大好きなんだなと感じました。

私自身も漫湖の自然観察やゴミ拾いなどを通して、自然の大切さについて考えさせられました。漫湖干潟には、たくさん生き物が棲んでいます。これからも、漫湖（自然）の大切さや面白さを、多くの人に伝えていきたいと思います。

最後に、これまで支えて下さったセンター職員および関係者の皆さま、本当にお世話になりました。これからも漫湖水鳥・湿地センターが素敵な場所であることを願っています。ありがとうございました。

## 石の上にも3年 ～今、あらたなる旅立ち～

広川ヨシ子

漫湖水鳥・湿地センターが初夏の陽ざしの中で開所してから早3年が経ちました。石の上にも3年でしょうか。

その間、多くの来館者が漫湖の自然に親しみ、あるいは地域の自然のすばらしさに気付かれたことでしょう。と同時に身近にさまざまな環境問題があることにも驚かされたことでしょう。

当センターでは日々、人と自然、人と人との交わりのドラマがくりひろげられています。

これも関係機関の皆様をはじめ、多くの方々温かいご指導、ご支援のおかげだと深く感謝しております。ありがとうございます。

さて、春4月は自然が芽吹き、そして人が息吹く頃。わたしたちスタッフにも息吹き飛び立つ若者がいます。

この3月をもって退職する玉城寿史さんです。彼とのお付き合いは、わずか6ヶ月ではありましたが、とにかく、よく頑張られました。

彼にとって当センターでの仕事は、全く未知の世界であったようです。時には、あまりの無知さにびっくりした私でしたが、しかし、持ち前の明るさ、誠実さ、素直さが向上心につながり、彼を大きく成長させたようです。

4月から彼は、教職に就きます。本当に頼もしい限りです。

漫湖水鳥・湿地センターという施設で、仕事を通して学んだ経験を生かし、これからの沖縄を担って立つ子どもに大いに伝えていってください。



“青年教師、雄々しく飛び立て”と拍手をもってお送りいたします。

玉城さん、ありがとう。そして、ご苦労様でした。

# 漫湖水鳥かわら版 32

～2月 クロツラ・クロツラ～

2月	羽数	先月との比較
カイツブリ	5	↑
ダイサギ	10	↑
チュウサギ	6	↑
コサギ	10	↓
アオサギ	32	↑
クロツラヘラサギ	6	↓
ツクシガモ	1	→
オナガガモ	11	↑
キンクロハジロ	2	↓
ミサゴ	5	↑
ハヤブサ	1	→
バン	4	↑
シロチドリ	30	↓
メダイチドリ	5	↑
<b>ムナグロ</b>	<b>209</b>	<b>↑</b>
ダイゼン	51	↑
タゲリ	3	↑
トウネン	10	↑
ヒバリシギ	5	↑
ハマシギ	1	↓
アカアシシギ	27	↓
コアオアシシギ	3	↑
アオアシシギ	53	↑
キアシシギ	1	→
イソシギ	11	↓
オオソリハシシギ	1	↑
ダイシャクシギ	19	↑
ハウロクシギ	1	→
チュウシャクシギ	5	↓
タシギ	3	↓
カワセミ	2	↑
ハクセキレイ	5	↑
合計	538	↑

## 2月

2月は、ほぼ毎日クロツラヘラサギを観察することができました。漫湖にいるクロツラヘラサギの中で脚に標識をつけている個体があります。その個体の番号は、『J09』。

この『J09』は、昨年春もよく漫湖に姿を見せてくれました。どうやら、漫湖がお気に入りのようです。

毎日、潮に合わせてエサを採ったり、休息したりしているクロツラを見ていると「いつまでも、漫湖がクロツラにとって棲みよい場所であってほしい。」と

願わずにられません。

しょっちゅう寝ているクロツラを見て「いいなあ」と思うことも多いですが…

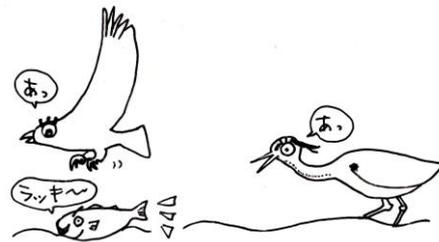


## 2月12日

先月は、ゴカイをめぐるコサギとダイシャクシギの戦いを書きましたが、今度はミサゴとアオサギの戦いです。

ミサゴが大きなボラを捕まえました。それを狙ってアオサギが追いかけます。ミサゴがついにボラを落としてしまいました。そして…自由の身になったボラは、水の中を泳いで逃げていったのでした。

やはり、野生の世界は大変だ!!



## 2月16日

この日はとっても暖かい日でした。干潟をじっと見ていると、ヒメヤマトオサガニやシオマネキ類がいっぱいです。

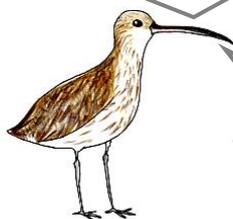
沖縄といえども寒い日もあり、カニも土の中でじっとしていたようですが、この日は暖かさにつられて活動を始めたようです。

季節の変化・気温の変化をしっかりと感じているんですね。

\*\*\*行事のお知らせ\*\*\*

## 観察会「春の野鳥観察」

冬鳥を楽しむ最後のチャンス!!  
一度、望遠鏡で鳥を見てみたかった、あなた!ぜひ参加してください。



予約が必要です!  
湿地センターまで  
お電話して下さい。

日 時: 3月19日(日) 13時~15時

集合場所: 漫湖水鳥・湿地センター

対 象: 小学1年生以上

\*小学3年生までは保護者同伴

参加費: 100円(保険料)

講 師: 山城 正邦先生(沖縄野鳥の会)

持ち物: 筆記用具

問い合わせ: 漫湖水鳥・湿地センター

(TEL: 098-840-5121)

### 団体利用

1月	地域
<b>保育園・幼稚園</b>	
報恩幼稚園	那覇市
<b>小学校</b>	
新城小学校	八重瀬町
<b>高等学校</b>	
豊見城高校	豊見城市
熊本県八代高校	県外
<b>医療・福祉関係</b>	
デイサービス有明の里	浦添市
<b>その他</b>	
和歌山県庁職員	県外
沖縄教職員組合 那覇支部	那覇市
沖縄市老人会	沖縄市
アメリカフィールドガイド バーディングツアー	外国
JICA	外国



総入館者数  
**57,344名**

入館者数  
**2月 1,090名**  
(うち団体 **272名**)



新城小学校のみなさん。ビデオを見ながら、いっぱいメモをとりました!

\*\*\*編集後記\*\*\*

今年度も皆様に支えられ、通信を発行することができました。来年度もさらにおもしろく、漫湖やセンターの様子を感じてもらえるような通信となるようにがんばります!



中井 聡子

〈 漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会(環境省・沖縄県・那覇市・豊見城市) 〉

〒901-0241 沖縄県豊見城市字豊見城 982 TEL(098)840-5121 FAX(098)840-5118

開館時間 9:00 ~ 17:00 休館日: 月曜日(月曜日が祝日の場合・翌日)、年末年始(12/29 ~ 1/3)

E-mail: manko\_mizudori@ybb.ne.jp

HP: [http://www.geocities.jp/manko\\_mizudori/](http://www.geocities.jp/manko_mizudori/)